



手足に不自由のある方(お客様)への配慮について

○手足の不自由とは？

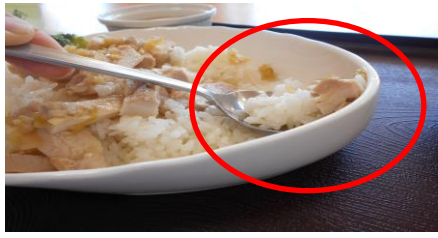

手足の筋力低下、痛み(疼痛)、関節の動きの制限(関節可動域制限)、切断等により、手足に不自由(機能障害)がある状態で、身体障害の1つです。

○手足の不自由の症状


不自由の箇所	手足に不自由のある方の例	症状の例
手		不自由の症状は、障害の程度により異なり、動き難いから全く動かない、まで様々である。
足		・手足に力が入らない。 ・手足が痛い、関節が硬くて、動かせない。

○手足の不自由のある方への配慮

手足の不自由のある方が来店されたときは、「必要な配慮(お手伝い)はありますか」、とお声掛けしていただき、配慮をしていただくと助かります。配慮の事例について、2例紹介します。

[片手の不自由の方]	[足の不自由の方]
 <ul style="list-style-type: none">・非利手(左手等)では、箸を扱いにくいので、フォーク、スプーンがあると食べやすい。・深い皿(介護食器等)の方がすくい易い。	 <ul style="list-style-type: none">・入口、通路に近い席に案内する。・動くスペースを確保する(隣の椅子を移動する等)。

仙台市若林障害者福祉センター

( 社会福祉法人 仙台市障害者福祉協会)

電話：022-294-0450